

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十一年一月度 入選句（投稿総数三千百三十三句・小中学投句数二千五百四十一句）

特選

選者 高木 恵理

初写 真 三二一 でいい えがお 大垣市 高田 凱聖(小五)

新年にふさわしく、明るく希望にあふれた俳句です。また、声に出して読んだときのリズムも素晴らしいですね。新しい年を迎え、親戚みんなが集まり、写真をとったのでしようね。たくさんの笑顔だけでなく、三二一という楽しそうな声も聞こえてきます。カメラマンも、思わず笑顔になったことでしょう。幸せな一年が始まりそんな予感がします。

初雪 がつもった道に一番のり 大垣市 清水 もも(小五)

「明日は雪がふるかな」「つもってくれないかな」多くの子が初雪を楽しみにしています。作者も、きつとわくわくしながら朝を迎えたのでしよう。そして、いつもより早く目覚め、準備し、急いで外に出たのでしようね。今年初めての雪を味わいながら一步一步進んでいったのでしよう。自分で道を切り拓いていくような力強い俳句です。

書き初めで大きく書いた希望の字 愛知県西尾市 山際 康介(中二)

大きく文字を書いたところが素敵です。作者は、新年だからこそ大きく文字を書いたのです。大きく書くためには、大らかな気持ちと集中力が必要です。そこに、作者の人間性がにじみ出ています。また、「今年もがんばるぞ」という覚悟も伝わってきます。「希望」という文字も未来への夢にあふれていますね。若さにあふれ、勢いのある俳句として完成しています。

秀逸

クリスマスツリーのしたにプレゼント 大垣市 くぼた じゅんや(小二)

めざましが鳴る前起きるクリスマス 美濃加茂市 金子 颯汰(中二)

ふくわらい目とはなのいちまちがえた 大垣市 小寺 天夕(小五)

年賀状これを書いたのだれだろう 大垣市 菱田 陸人(小五)

たこあげだってもたかくいいとしを 大垣市 中村 さゆ(小二)

ゆきうさぎゆきがふったらおともだち 大垣市 田邊 葉奈(小二)

焼きすぎだ九個のおもちくつついた 大垣市 丹羽 聖太(小五)

親せきと書きぞめ会で大笑い 大垣市 岡田 真依(小五)

ばあちゃんにおしえてもらうこままわし 大垣市 澤田 莉央(小五)

除夜のかね耳の奥までひびく音 大垣市 三輪 さや(小六)

入選

あさおきてバケツをみたらスケートじょう
 うがいしていんふるえんぎやっつける
 おもちつきまちがえうすにうっちゃった
 ひさしぶりスキーのリフトのれるかな
 大そうじこんなとこにまた消しゴム
 弟と歌留多対決まけました
 ゆきだるまおひさまでもきえないで
 ねんがじょうおかあさんのがおおかつた
 十二月0じ0びようジャンプする
 妹と玉をころころゆきだるま

大垣市 金森りようすけ(小二)
 大垣市 松岡 暖大(小二)
 大垣市 坂 祐 奈(小三)
 大垣市 村若 拓真(小二)
 大垣市 川村 梨々花(小五)
 大垣市 早野 優果(小五)
 大垣市 田邊 葉奈(小二)
 大垣市 海野 僚(小四)
 大垣市 細野 桜(小四)
 大垣市 山田 祐鈴(小四)

入選

初もうで八まんさんは行列だ
 雪あそび指のかんかくなかった
 福笑い目玉の位置がはしっこに
 お正月昼ご飯からごうかだな
 やきいもをおいしく作るおばあちゃん
 書初で入選目指す心いき
 羽子板で父がコツンと頭打つ
 書き初で今年のめあて書き出して
 年賀状家族みんなで大急ぎ
 かみ切って外に出たらね首寒い

大垣市 丹羽 聖太(小五)
 大垣市 栗田 武蔵(小五)
 大垣市 國嶋 小春(小五)
 大垣市 奥田 涼太(小五)
 大垣市 岩井 好誠(小五)
 大垣市 竹内 啓太(小五)
 大垣市 一色 和弥(小五)
 大垣市 河合 笑鈴(小五)
 大垣市 井上 尚也(小六)
 大垣市 赤尾 世楽(小六)

選者吟

湯煙をあげて大湯の雪おろし

恵理